

厚生労働大臣

殿

島根大学医学部附属病院長

小林祥

島根大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	47人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	308人	6人	311.3人	看護補助者	36人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	22人	0人	22.0人	理学療法士	6人	臨床検査技師	30人
薬剤師	24人	0人	24.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	4人	検査その他	0人
助産師	10人	2人	11.6人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	413人	30人	433.5人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	1人	その他の技術員	21人
歯科衛生士	1人	2人	2.5人	歯科技工士	1人	事務職員	143人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	26人	その他の職員	24人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	484.4人	8.4人	492.8人
1日当たり平均外来患者数	922.1人	28.5人	950.6人
1日当たり平均調剤数	(入院) 498.9 剤	(外来) 227.6 剤	計 726.5 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	3人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顎顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	0人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	0人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊娠性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。)であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	15人
乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	32人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	皮膚悪性腫瘍におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	取扱患者数	10 人
当該医療技術の概要 皮膚悪性腫瘍において、RI法及び色素法にてセンチネルリンパ節を同定し、生検後病理学検査にて転移の有無を判定し、所属リンパ節郭清の適応を決定する。			
医療技術名	食物負荷試験における血中抗原モニタリング	取扱患者数	10 人
当該医療技術の概要 食物アレルギーの診断における食物負荷試験の際、血中の抗原をモニターすることで、食物アレルギーの原因食物の診断精度を向上させる。			
医療技術名	IMRT(強度変調放射線治療)	取扱患者数	5 人
当該医療技術の概要 放射線のビームの強弱をコンピュータで調整することにより、がん病巣の形状に合致した照射をおこなうことができる。これにより、周囲正常組織の障害を減らして、病巣に高線量を照射可能で、治療成績の向上が期待される。			
医療技術名	定位照射	取扱患者数	4 人
当該医療技術の概要 転移性脳腫瘍に対して、細く調整した放射線ビームを多方向からピンポイント的に照射することにより、放射線の照射の線量集中性を高める。			
医療技術名	免疫放射線治療(ゼバリン)	取扱患者数	1 人
当該医療技術の概要 ある種類の悪性リンパ腫が特異的持つ表面抗原に対する抗体にアイソトープであるイットリウムを標識して静脈注射する。悪性リンパ腫に抗原抗体反応を介してイットリウムが集積し、局所的な放射線治療をおこなう。			
医療技術名	顕微鏡下手術	取扱患者数	95 人
当該医療技術の概要 顕微鏡下に脳血管疾患や脳腫瘍性疾患の手術を行う。顕微鏡手術に、最近開発された種々の薬剤やアシスト機器を用いて手術の安全性を向上させる。例として、血管疾患では蛍光色素ICGを血管内に投与しバイパスの開存や動脈瘤の母血管からの分離を確認する。脳腫瘍に対しては5-ALAを用いて腫瘍の摘出率を向上させる。また、神経内視鏡をアシストに用いて顕微鏡手術だけでは死角になる病変の手術操作を可能とする。			
医療技術名	脳神経血管内手術	取扱患者数	53 人
当該医療技術の概要 切開手術がハイリスクな患者に対し、カテーテルを用いた低侵襲手術を行う。また中枢神経腫瘍に対し、カテーテルを用いて腫瘍局所に効率的に化学薬剤を導入する。			
医療技術名	頭蓋底腫瘍手術	取扱患者数	2 人
当該医療技術の概要 頭蓋底腫瘍の手術は、腫瘍摘出後に髄液漏を引き起こすような頭蓋底組織の欠損が生じ、腫瘍摘出後には頭蓋底面の再建・形成手術も行う必要があるために、手術難度が高い。しかし頭蓋底の腫瘍には放射線治療や化学薬剤による治療効果が低いことが多く、手術摘出が唯一の有効治療方法となっている。			
医療技術名	種々の疾患に対する硝子体手術の修得(主に増殖性硝子体網膜症について)	取扱患者数	2 人
当該医療技術の概要 硝子体手術の適応、基本的手技、および高度な先端医療について学ぶ事が可能。裂孔原性網膜剥離、網膜上膜、黄斑円孔など手術に加え、重篤な疾患、例えば、増殖性硝子体網膜症や増殖性糖尿病網膜症に対する硝子体切除術のビデオ供覧を行い症例ごとの手技の確認とともに実践的な臨床経験を積んでいる。			
医療技術名	新しい緑内障手術についての研修	取扱患者数	2 人
当該医療技術の概要 通常の緑内障手術の手技や高度先進的インプラント手術についての経験を積んでいる。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	造血幹細胞移植	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 骨髄移植などの造血器腫瘍の治療			
医療技術名	関節鏡視下膝靭帯再建術	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要 関節鏡(内視鏡)を用いた最小侵襲手術かつ、無輸血手術、無駆血手術を行い、早期リハビリテーション、早期社会復帰を可能にしている。			
医療技術名	人工股関節全置換術	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 クリーンルームで超清潔下に人工股関節置換術を行っている。			
医療技術名	脊髓誘発電位測定	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 手術中に脊髓誘発電位測定を行い、安全かつ有効な手術を可能にしている。			
医療技術名	顎微鏡視下手術	取扱患者数	218人
当該医療技術の概要 脊椎外科・手の外科や腫瘍再建外科において、顎微鏡を用いた神経の剥離、微小血管・神経の縫合や組織移植を可能にしている。			
医療技術名	多チャンネルインピーダンス・pHモニタリング検査	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 一般的な治療に抵抗する胸焼け、呑酸、胸痛症状の患者の病因を調べるために行われる検査で日本国内では20施設程度しか行っていない。食道内へのあらゆる物質の逆流を24時間にわたって検索することができる。			
医療技術名	MA-03による血液浄化治療	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 MA-03装置を用いてLDL吸着、血漿交換及びDFPPを行った。			
医療技術名	反復経頭蓋磁気刺激治療	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 パーキンソン病、多系統萎縮症の症状改善に施行。			
医療技術名	事象関連電位検査	取扱患者数	128人
当該医療技術の概要 高次脳機能の評価、治療判定、疾患診断に施行。			
医療技術名	t-PA	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 発症3時間以内の脳梗塞急性期・超急性期患者に投与			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	TMV手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 子宮脱・膀胱瘤・直腸瘤に対して、手術侵襲が少なく入院期間が短く、短期間に低頻で手術できる。			
医療技術名	胎児心エコー法	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要 超音波専門医による胎児の心臓スクリーニング検査を行い、出生前診断を行う。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	40 人	・膿疱性乾癥	2 人
・多発性硬化症	24 人	・広範脊柱管狭窄症	1 人
・重症筋無力症	28 人	・原発性胆汁性肝硬変	8 人
・全身性エリテマトーデス	87 人	・重症急性胰炎	1 人
・スモン	0 人	・特発性大腿骨頭壊死症	21 人
・再生不良性貧血	25 人	・混合性結合組織病	27 人
・サルコイドーシス	36 人	・原発性免疫不全症候群	0 人
・筋萎縮性側索硬化症	11 人	・特発性間質性肺炎	9 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	82 人	・網膜色素変性症	4 人
・特発性血小板減少性紫斑病	37 人	・プリオント病	3 人
・結節性動脈周囲炎	15 人	・肺動脈性肺高血圧症	2 人
・潰瘍性大腸炎	62 人	・神経線維腫症	2 人
・大動脈炎症候群	11 人	・亜急性硬化解性全脳炎	0 人
・ビュルガー病	4 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0 人
・天疱瘡	6 人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3 人
・脊髄小脳変性症	24 人	・ライソゾーム病	0 人
・クローン病	33 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0 人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0 人
・悪性関節リウマチ	8 人	・脊髄性筋委縮症	0 人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	72 人	・球脊髄性筋委縮症	0 人
		・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	2 人
・アミロイドーシス	6 人	・肥大型心筋症	0 人
・後縦靭帯骨化症	18 人	・拘束型心筋症	0 人
・ハンチントン病	1 人	・ミトコンドリア病	0 人
・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	6 人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0 人
・ウェグナー肉芽腫症	6 人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0 人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	7 人	・黄色靭帯骨化症	0 人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	15 人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSI分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	32 人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0 人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 該当なし	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	60~70回／年
部 検 の 状 況	部検症例数 30 例 ／ 部検率 10%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度診断法の実用化に関する研究	杉本 利嗣	内分泌代謝内科	700,000	補 厚生労働省科学 研究費補助金
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	杉本 利嗣	内分泌代謝内科	1,400,000	補 厚生労働省科学 研究費補助金
2型糖尿病における骨脆弱性の本態および糖代謝と骨代謝の相互作用の解明	山口 徹	内分泌代謝内科	700,000	補 三井住友海上福 祉財団
中山間地区における高齢者の腎機能と骨折に関する研究	矢野 彰三	内分泌代謝内科	1,000,000	補 日本腎臓財団
糖尿病に合併する骨粗鬆症の本態の解明に関する研究	山口 徹	内分泌代謝内科	1,300,000	補 文部科学省科学 研究費補助金
尿毒素物質による慢性腎臓病の進展機序の解明と治療への応用	矢野 彰三	内分泌代謝内科	1,560,000	補 文部科学省科学 研究費補助金
AGES—RAGE系とFetuin-Aの骨代謝と動脈硬化に対する病態生理の解明	山本 昌弘	内分泌代謝内科	780,000	補 文部科学省科学 研究費補助金
Stem cell biologyに立脚したバレット腺癌の成因の解明	木下 芳一	消化器内科	1,170,000	補 文部科学省科学 研究費補助金
MFG-E8によるNF-κB依存性シグナルの制御機構の解明と腸管の抗炎症薬開発	石原 俊治	消化器内科	1,690,000	補 文部科学省科学 研究費補助金
食道扁平上皮の恒常性維持におけるNotchシグナルの役割と腺癌発症機構の解明	石村 典久	消化器内科	1,040,000	補 文部科学省科学 研究費補助金
好酸球性食道炎／好酸球性胃腸炎の疾患概念確立と治療指針作成のための臨床研究	木下 芳一	消化器内科	19,500,000	補 厚生労働省科学 研究費補助金
急性心筋梗塞、脳卒中の急性期医療におけるデータベースを用いた医療提供の在り方に関する研究	山口修平	神経内科	1,000,000	補 厚生労働省科学 研究費補助金
重症多型滲出性紅斑に関する調査研究	森田栄伸	皮膚科	1,500,000	補 厚生労働省科学 研究費補助金
神経皮膚症候群に関する調査研究	古村南夫	皮膚科	1,100,000	補 厚生労働省科学 研究費補助金
全年齢層に対応可能な小麦依存性運動誘発アナフィラキシー診断法の開発	高橋 仁	皮膚科	2,000,000	補 独立行政法人科 学技術振興機構 JSTイノベーションプラ
各種皮膚疾患における培養困難微生物を含む微生物叢の網羅的解析	出来尾 格	皮膚科	1,170,000	補 文部科学省科学 研究費補助金
タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マスクリーニング体制の確立に関する研究	山口 清次	小児科	14,850,000	補 厚生労働省科学 研究費補助金
先天代謝異常症の診断ネットワークを介した長期予後追跡システムの構築	山口 清次	小児科	1,000,000	委 成育医療研究所

乳幼児突然死症候群(SIDS)における病態解明と臨床的対応および予防法開発とその普及啓発に関する研究	山口 清次	小児科	900,000	補	厚生労働省科学 研究費補助金
インフルエンザ脳症など重症インフルエンザの発症機序の解明とそれに基づく治療法・予防方法の確立に関する研究	山口 清次	小児科	1,500,000	補	厚生労働省科学 研究費補助金
高グリシン血症の患者数把握と治療法開発に関する研究	山口 清次	小児科	1,000,000	補	厚生労働省科学 研究費補助金
先天性ケトン体代謝異常症(β-ケトチオラーゼ欠損症、サクシニル-CoA:3-ケト酸CoAトランスフェラーゼ欠損症)の発症形態と患者数の把握、診断指針に関する研究	山口 清次	小児科	2,500,000	補	厚生労働省科学 研究費補助金
若年性線維筋痛症の診断・疫学、病因・病態の解明と治療法の創出	山口 清次	小児科	500,000	補	厚生労働省科学 研究費補助金
成育疾患のデータベース構築・分析とその情報提供に関する研究	山口 清次	小児科	500,000	補	厚生労働省科学 研究費補助金
Survivinを標的とした活性型Flt3陽性造血腫瘍に対する新たな治療戦略開発	福田 誠司	小児科	2,990,000	補	文部科学省科学 研究費補助金
カルニチン欠乏症の診断と病態解析に関する研究	小林 弘典	小児科	2,210,000	補	文部科学省科学 研究費補助金
高度低体温により誘導される蛋白質発現・リン酸化の網羅的プロテオミクス解析	織田 穎二	心臓血管外科	9,230,000	補	文部科学省科学 研究費補助金
再生肝および腫瘍組織における低酸素環境下での血管新生の分子機構に関する実験的研究	山野井 彰	肝・胆・脾外科	1,690,000	補	文部科学省科学 研究費補助金
大気圧低温プラズマを用いた腱癒着防止・腱縫合部癒合促進技術の開発	内尾 祐司	整形外科	1,040,000	補	文部科学省科学 研究費補助金
大気圧低温プラズマによる骨折治療	熊橋 伸之	整形外科	1,820,000	補	文部科学省科学 研究費補助金
腰部脊柱管狭窄症における酸化ストレスの関与と抗酸化物質の効果	柿丸 裕之	整形外科	1,040,000	補	文部科学省科学 研究費補助金
大気圧低温プラズマを用いたハイブリッド人工半月板の開発	桑田 卓	整形外科	1,144,000	補	文部科学省科学 研究費補助金
膝痛患者に対する3.0テスラMRIを用いての高精度画像診断技術の確立と膝痛の増悪因子の解明に関する研究	内尾 祐司	整形外科	3,800,000	補	厚生労働省科学 研究費補助金
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	井川幹夫	泌尿器科	400,000	補	厚生労働省科学 研究費補助金
塩酸ミノサイクリンの抗精神病薬効果に関する研究	宮岡 剛	精神科神経科	1,690,000	補	文部科学省科学 研究費補助金
アカシジアの病態解明に関する「覚醒時」ミオクローヌスの電気生理学的研究	堀口 淳	精神科神経科	1,820,000	補	文部科学省科学 研究費補助金
ゴナドトロピン分泌における大脳視床下部生理活性物質の作用機序に関する研究	宮崎 康二	産科婦人科	1,560,000	補	文部科学省科学 研究費補助金
下垂体ゴナドトロピン特異的合成メカニズムの解明	金崎 春彦	産科婦人科	1,300,000	補	文部科学省科学 研究費補助金

卵巣癌の染色体不安定性機構解明及び不安定性誘導因子を標的とした治療法の開発	中山 健太郎	産科婦人科	1,560,000	補	文部科学省科学研究費補助金
卵巣癌3期におけるFISH法を用いた遺伝子コピー数の変化による新分類の試み	石川 雅子	産科婦人科	390,000	補	文部科学省科学研究費補助金
PACAPによるLH,FSH制御機構	金崎 春彦	産科婦人科	2,000,000	補	財団法人上原記念生命科学財団
新規細胞分裂関連タンパクNAC-1を標的とした卵巣癌の治療法の開発	中山 健太郎	産科婦人科	1,000,000	補	財団法人神澤医学研究振興財団
卵巣癌の染色体不安定性発生の新機構解明の試み	中山 健太郎	産科婦人科	500,000	補	財団法人大阪癌研究会
粘膜系自然・獲得免疫によるアレルギー制御	川内 秀之	耳鼻咽喉科	2,500,000	補	厚生労働省科学研究費補助金
アレルギー性鼻炎の制御に向けた新たな治療戦略の確立 一免役分子生物学的研究一	川内 秀之	耳鼻咽喉科	4,420,000	補	文部科学省科学研究費補助金
肥満細胞と自然免疫のクロストークからのアレルギー性鼻炎制御の試み	清水 保彦	耳鼻咽喉科	1,950,000	補	文部科学省科学研究費補助金
内因性酸化ストレス応答の分子機構解析とその調節による網膜変性抑制	谷戸 正樹	眼科	1,950,000	補	文部科学省科学研究費補助金
レーザーマイクロダイセクションを用いた網膜内発現タンパク質の局在及び定量解析	海津 幸子	眼科	650,000	補	文部科学省科学研究費補助金
がん臨床研究事業「がん医療の均てん化に資する放射線治療の推進及び品質管理に係る研究」	内田伸恵	放射線治療科	500,000	補	厚生労働省科学研究費補助金
μ オピオイドの脊髄鎮痛と耐性における受容体細胞内動態の役割を明らかにする	斎藤 洋司	麻酔科	1,950,000	補	文部科学省科学研究費補助金
脊髄レベルにおけるオピオイド誘発性知覚過敏の機序の解明	石田 亮介	麻酔科	1,482,000	補	文部科学省科学研究費補助金
おとり遺伝子を用いた腫瘍血管新生抑制による純国産型遺伝子治療法の開発	石橋 浩晃	歯科口腔外科	5,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌におけるAuroraキナーゼの分子病態の解明とその治療戦略への応用	近藤 誠二	歯科口腔外科	1,950,000	補	文部科学省科学研究費補助金
おとり遺伝子を用いた血管新生抑制による新規の癌遺伝子治療法の開発と応用	辰巳 香澄	歯科口腔外科	1,690,000	補	文部科学省科学研究費補助金
おとり遺伝子を用いた国産戦略による変形性関節症への新規遺伝子治療法の展開	石橋 浩晃	歯科口腔外科	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
欧米の先進大学と連携したオンラインテレビ会議システム	近藤 誠二	歯科口腔外科	300,000	補	財団法人島根大学医学教育研究振興財団
出雲市内医療機関におけるパンコマイシン耐性腸球菌のアクティバーサーバイランス	森山 英彦	検査部	300,000	補	財団法人島根大学医学教育研究振興財団
生活習慣病発症予知予防を目標とした中山間地域住民の長期追跡調査による臨床疫学研究	益田 順一	検査部	4,680,000	補	文部科学省科学研究費補助金
在宅を含む医療と福祉の安全安心な電磁環境基盤整備に関する研究	花田 英輔	医療情報部	5,460,000	補	文部科学省科学研究費補助金
診療プロセス管理のための時系列アクティブマイニングに関する研究	津本 周作	医療情報部	6,630,000	補	文部科学省科学研究費補助金

専門家の評価基準に適応するルール評価支援システムの開発	阿部 秀尚	医療情報部	1,170,000	補	文部科学省科学研究費補助金
情報粒度に着目した多変量時系列の自動分類に関する研究	平野 章二	医療情報部	1,690,000	補	文部科学省科学研究費補助金
電子タグを用いた医療機器運用管理システムの開発	花田 英輔	医療情報部	2,000,000	委	科学技術振興機構(JST)シーズ発掘試験A(発掘型)
病院情報システム連動型注射薬情報確認システムの開発	花田 英輔	医療情報部	1,804,000	委	しまね産学官協働推進事業可能性試験
バレット食道の病態に対する逆流胆汁と脂肪酸合成酵素の関わり	天野 祐二	光学医療診療部	910,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Barrett食道の内視鏡的surveillanceにおけるpit pattern及びcapillary pattern観察	天野 祐二	光学医療診療部	500,000	補	内視鏡医学研究振興財団
NUP98-HOX融合遺伝子を有する白血病における発症機序及び標的分子の解明	竹谷 健	輸血部	1,430,000	補	文部科学省科学研究費補助金
重度先天性骨大社疾患に対する遺伝子改変間葉系幹細胞移植治療法の開発(重度先天性骨代謝疾患に対する細胞委嘱治療の臨床応用の確立)	竹谷 健	輸血部	10,000,000	委	文部科学省
「医療安全に係るコミュニケーションスキルに関する研究－患者ハラスメントに焦点をあてて－」	廣瀬 昌博	病院医学教育センター	400,000	補	厚生労働省科学研究費補助金

(注) 1 國、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計9
合計69

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Bone Miner Res 24(4): 702-709, 2009 (平成21年4月)	Diabetic patients have an increased risk of vertebral fractures independent of bone mineral density or diabetic complications.	Yamamoto M, Yamaguchi T, Yamauchi M, Kaji H, Sugimoto T	内分泌代謝内科
Bone 45(2): 174-179, 2009(平成21年8月)	Association between components of the metabolic syndrome versus bone mineral density and vertebral fractures in patients with type 2 diabetes.	Yamaguchi T, Kanazawa I, Yamamoto M, Kurioka S, Yamauchi M, Yano S, Sugimoto T	内分泌代謝内科
J Clin Endocrinol Metab 94(8): 3031-3037, 2009 (平成21年8月)	Adiponectin is associated with changes in bone markers during glycemic control in type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I, Yamaguchi T, Yamauchi M, Yamamoto M, Yano S, Sugimoto T	内分泌代謝内科
Horm. Metab. Res. 41: 612-616, 2009 (平成21年8月)	Inhibition of the mevalonate pathway rescues the dexamethasone-induced suppression of the mineralization in osteoblasts via enhancing bone morphogenetic protein-2 signal.	Kanazawa I, Yamaguchi T, Yano S, Hayashi K, Yamauchi M, Sugimoto T	内分泌代謝内科
Calc Tissue Int 85(3): 228-234, 2009 (平成21年9月)	Serum osteocalcin/bone specific alkaline phosphatase ratio is a predictor for the presence of vertebral fractures in men with type 2 diabetes.	Kanazawa I, Yamaguchi T, Yamamoto M, Yamauchi M, Yano S, Sugimoto T	内分泌代謝内科

小計 5

Osteoporosis Int 20: 1889–1894, 2009 (平成21年11月)	Bone fragility in male glucocorticoid-induced osteoporosis is not defined by bone mineral density.	Hayashi K, Yamamoto M, Murakawa Y, Yamauchi M, Kaji H, Yamaguchi T, Sugimoto T	内分泌代謝内科
Diabetes Care 32(12): 2263–2268, 2009 (平成21年12月)	Low serum level of the endogenous secretary receptor for advanced end-products (esRAGE) is a risk factor for prevalent vertebral fractures independent of bone mineral density in patients with type 2 diabetes.	Yamamoto M, Yamaguchi T, Yamauchi M, Sugimoto T	内分泌代謝内科
Horm Metab Res 41(12): 861–865, 2009 (平成21年12月)	Parathyroid hormone up-regulates BMP-2 mRNA expression mediated through mevalonate kinase inhibition in osteoblastic MC3T3-E1 cells.	Takase H, Yano S, Yamaguchi T, Kanazawa I, Hayashi K, Yamauchi M, Yamamoto M, Sugimoto T	内分泌代謝内科
Nephron Clin Pract 115(1): C51–C58, 2010 (平成22年2月)	A new parameter for quantifying parathyroid function in patients undergoing hemodialysis.	Yano S, Brown EM, Takase H, Wada A, Suzuki K, Kobayashi A, Sugimoto T	内分泌代謝内科
International Journal of Hematology 91: 464–470, 2010(平成21年4月)	A high risk of life-threatening infectious complications in mycophenolate mofetil treatment for acute or chronic graft-versus-host disease.	Onishi C	血液内科
American Journal of Gastroenterology, 104: 1106–1111, 2009 (2009.05)	The impact of lifestyle modification on the health-related quality of life of patients with reflux esophagitis receiving treatment with a proton pump inhibitor	Kinoshita Y, et al	消化器内科
Clinical Nutrition, 28: 648–651, 2009 (2009.12)	Half-solidification of nutrient dose not decrease gastro-esophageal reflux events in patients fed via percutaneous endoscopic gastrostomy	Adachi K, et al	消化器内科
Digestive Endoscopy, 21: 213–218, 2009 (2009.10)	Endoscopic definition of esophagogastric junction for diagnosis of Barrett's esophagus: importance of systematic education and training	Ishimura N, et al	消化器内科
Gut, 58: 620–628, 2009 (2009.05)	Roles of caudal-related homeobox gene Cdx1 in oesophageal epithelial cells in Barrett's epithelium development	Kazumori H, et al	消化器内科
Journal of Gastroenterology, 44: 812–818, 2009 (2009.06)	Asymmetrical circumferential distribution of esophagogastric junctional lesions; a anatomical and physiological considerations	Kinoshita Y, et al	消化器内科
Journal of Gastroenterology, 44: 1097–1108, 2009 (2009.11)	Inflammatory bowel disease: review from the aspect of genetics	Ishihra S, et al	消化器内科
Journal of Gastroenterology, 44: 412–418, 2009 (2009.05)	Gastric emptying of liquid and solid meals at various temperatures: effect of meal temperature for gastric emptying	Mishima Y, et al	消化器内科
The Journal of Immunology, 182: 7222–7232, 2009 (2009.06)	MFG-E8 attenuates intestinal inflammation in murine experimental colitis by modulating osteopontin-dependent $\alpha v \beta 3$ -integrin signaling	Aziz MM, et al	消化器内科
Clinical and Experimental Immunology, 159: 185–198, 2010	A20 is an early responding negative regulator of Toll-like receptor 5 signalling in intestinal epithelial cells during inflammation	Oshima N, et al	消化器内科
World Journal of Gastroenterology, 16: 987–991, 2010 (2010.02)	Effects of anti-hypertensive drugs on esophageal body contraction	Yoshida K, et al	消化器内科

World Journal Gastroenterology, 15: 2782–2786, 2009 (2009.06)	A dose-up of ursodeoxycholic acid decreases transaminases in hepatitis C patients	Sato S, et al	肝臓内科
Stroke (2009年)	Response to Letter by Park and Yasuda.	Bokura H, Yamaguchi S	神經内科
Cerebrovascular Diseases (2009年)	Predictors of intracerebral hemorrhage severity and its outcome in Japanese stroke patients.	Hosomi N, Naya T, Ohkita H, Mukai M, Nakamura T, Ueno M, Dobashi H, Murao K, Masugata H, Miki T, Kohno M, Kobayashi S, James A.Koziol, for the Japan Standard Stroke Registry Study Group	神經内科
American Journal of Hypertension (2009年)	Evaluation of asymmetric dimethylarginine and homocysteine in microangiopathy-related cerebral damage.	Notsu Y, Nabika T, Bokura H, Suyama Y, Kobayashi S, Yamaguchi S, Masuda J	神經内科
Cerebrovascular Diseases (2009年)	Edaravone (radical scavenger) versus sodium ozagrel (antiplatelet agent) in acute noncardioembolic ischemic stroke (EDO trial).	Shinohara Y, Saito I, Kobayashi S, Uchiyama S	神經内科
Glia (2009年)	Lysophosphatidylcholine induces glial cell activation:Role of rho kinase.	Abdullah Md.Sheikh, Nagai A, Jae K.Ryu, James G.Mclarnon, Seung U.Kim, Masuda J	神經内科
American Journal of Hypertension (2009年7 月)	Effects of G994T in the Lp-PLA2 gene on the plasma oxidized LDL level and carotid intima-media thickness in Japanese: The Shimane study.	Tao Wang, Karino K, Yamasaki M, Yan Zhang, Masuda J, Yamaguchi S, Shiwaku K, Nabika T	神經内科
Neuroscience Letters (2009年)	Automatic activation of motor programs by object affordances in patients with Parkinson's disease.	Oguro H, Robert Ward, Martyn Bracewel, John Hindle, Robert Rafal	神經内科
Biomed Res (2009年)	Evaluation of diabetic neuropathy using the tone-entropy analysis, a noninvasive method to estimate the autonomic nervous function.	Karino K, Nabika T, Nishiki M, Iijima K, Nagai A, Masuda J	神經内科
Hiroshima J Med Sci (2009年)	Neural correlates of alexithymia in response to emotional stimuli: a study of anorexia nervosa patients.	Miyake Y, Okamoto Y, Onoda K, Shirao N, Mantani T, Yamawaki S	神經内科
Soc Neurosci (2009年)	Decreased ventral anterior cingulate cortex activity is associated with reduced social pain during emotional support.	Onoda K, Okamoto Y, Nakashima K, Nittono H, Ura M, Yamawaki S	神經内科

Neurosci Res (2009年)	Neural correlates of associative memory: the effects of negative emotion.	Onoda K, Okamoto Y, Yamawaki S	神経内科
Journal of Human Genetics (2009年)	Evaluation of genetic loci influencing adult height in the Japanese population.	Takeuchi F, Nabika T, Isono M, Katsuya T, Sugiyama T, Yamaguchi S, Kobayashi S, Yamori Y, Ogihara T, Kato N	神経内科
Brain and Cognition (2009年)	Self-referential processing of negative stimuli within the ventral anterior cingulate gyrus and right amygdala.	Yoshimura S, Ueda K, Suzuki S, Onoda K, Okamoto Y, Yamawaki S	神経内科
Journal of Neuroscience Research (2010年)	Transplantation of human mesenchymal stem cells promotes functional improvement and increases expression of neurotrophic factors in rat focal cerebral ischemia model.	Wakabayashi K, Nagai A, Sheikh AM, Shiota Y, Narantuya D, Watanabe T, Masuda J, Kobayashi S, Kim SU, Yamaguchi S	神経内科
Diabetologia (2010年2月)	Common variants at the GCK, GCKR, G6PC2-ABCB11 and MTNR1B loci are associated with fasting glucose in two Asian populations.	Takeuchi F, Katsuya T, S. Chakravarthy, Yamamoto K, Fujioka A, Serizawa M, Fujisawa T, Nakashima E, Ohnaka K, Ikegami H, Sugiyama T, Nabika T, A. Kasturiratne, Yamaguchi S, Kono S, Takayanagi R, Yamori Y, Kobayashi S, Ogihara T, A. de Silva, R. Wickremasinghe, Kato N	神経内科
Journal of Clinical Neuroscience (2010年)	Successfull treatment of post-stroke apathy by the dopamine receptor agonist ropinirole.	Kohno N, Abe S, Toyoda G, Oguro H, Bokura H, Yamaguchi S	神経内科
Neuroreport (2010年)	Feedback-related negativity is correlated with unplanned impulsivity.	Onoda K, Abe S, Yamaguchi S	神経内科
Brain Research (2010年)	Microglia transplantation attenuates white matter injury in rat chronic ischemia model via matrix metalloproteinase-2 inhibition.	Narantuya D, Nagai A, Sheikh AM, Wakabayashi K, Shiota Y, Watanabe T, Masuda J, Kobayashi S, Kim SU, Yamaguchi S	神経内科

Circulation (2010年)	Blood pressure and hypertension are associated with 7 loci in the Japanese population.	Takeuchi F, Isono M, Katsuya T, Yamamoto K, Yokota M, Sugiyama T, Nabika T, Fujioka A, Ohnaka K, Asano H, Yamori Y, Yamaguchi S, Kobayashi S, Takayanagi R, Ogihara T, Kato N	神経内科
Social Cognitive and Affective Neuroscience, doi (2010年)	Does lower self-esteem enhance social pain?: An examination of relationship between trait self-esteem level and anterior cingulate cortex activation induced by ostracism.	Onoda K, Okamoto Y, Nakashima K, Nittono H, Yoshimura S, Yamawaki S, Yamaguchi S, Ura	神経内科
Journal of Stroke & Cerebrovascular Diseases, doi (2010年)	Age-related changes of white matter lesions, hippocampal atrophy and cerebral microbleeds in healthy subjects without major cerebrovascular risk factors.	Chowdhury MH, Nagai A, Bokura H, Nakamura E, Kobayashi S, Yamaguchi S	神経内科
Plos One, doi (2010年)	Microglia transplantation attenuates white matter injury in rat chronic ischemia model via matrix metalloproteinase-2 inhibition.	Narantuya D, Nagai A, Sheikh AM, Wakabayashi K, Shiota Y, Watanabe T, Masuda M, Kobayashi S, Kim SU, Yamaguchi S	神経内科
Neuroimage (2010年)	Neural processing of negative word stimuli concerning body image in patients with eating disorders: an fMRI study.	Miyake Y, Okamoto Y, Onoda K, Shirao N, Otagaki Y, Yamawaki S	神経内科
Psychiatry Research (2010年)	Brain activation during the perception of distorted body images in eating disorders.	Miyake Y, Okamoto Y, Onoda K, Kurosaki M, Shirao N, Yamawaki S	神経内科
Neuroscience Letters (2010年)	Identification of rat P3-like processes in the anterior cingulate cortex and hippocampus.	Hattori M, Onoda K, Sakata S	神経内科
Journal of Affective Disorders (2010年)	Rostral anterior cingulate cortex activity mediates the relationship between the depressive symptoms and the medial prefrontal cortex activity.	Yoshimura S, Okamoto Y, Onoda K, Matsunaga M, Ueda K, Suzuki S, Yamawaki S	神経内科
Neuroimage (2010年)	Sadness enhances the experience of pain via neural activation in the anterior cingulate cortex and amygdala: an fMRI study.	Yoshino A, Okamoto Y, Onoda K, Yoshimura S, Kunisato Y, Demoto Y, Okada G, Yamawaki S	神経内科
Int J Cardiol 2009, Jan 31.	Steroid-induced crisis and rhabdomyolysis in a patient with pheochromocytoma: a case report and review.	Nobuyuki Takahashi, et al.	循環器内科

Japanese Journal of Infectious Disease 2009;62:461-463	A case of unforeseen intractable severe bacteremia due to <i>Acinetobacter baumannii</i> —an efficacy of sulbactam	Nobuyuki Takahashi, et al.	循環器内科
漢方医学2009;33:297-300	原因不明の血小板減少症に対して十全大補湯が著効した1症例	北村 順、ほか	循環器内科
Mebio (2010年1月)	【糖尿病性腎症の治療の最前線】早期発見のポイントと対策	伊藤 孝史	腎臓内科
日本腎臓学会誌 (2009年11月)	エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2009(解説)	伊藤孝史	腎臓内科
Int J Environ Health Res.	Environmental tobacco smoke and its effect on the symptoms and medication in children with asthma.	磯部 威	呼吸器・化学療法内科
臨床と研究	悪性胸水のマネジメント	濱口俊一, 磯部威	呼吸器・化学療法内科
島根医学	呼吸器病学のパラダイムシフトと呼吸器生活習慣病対策の重要性	磯部威, 神田響, 峠岡康幸	呼吸器・化学療法内科
島根医学	ICTの介入による抗菌薬の適正使用推進の効果	磯部 威	呼吸器・化学療法内科
日本内科学会雑誌	分子標的薬：副作用対策	津端 由佳里、須谷 順尚、磯部 威	呼吸器・化学療法内科
日本内科学会雑誌	呼吸器疾患のガイドライン	磯部 威	呼吸器・化学療法内科
臨床病理	Head-up tilt testによる睡眠時無呼吸患者の自律神経機能評価	磯部 威	呼吸器・化学療法内科
島根県病院薬剤師会雑誌	肺癌化学療法の最前線(解説)	磯部 威	呼吸器・化学療法内科
肺結核における抗菌薬の選択	化学療法の領域	磯部 威	呼吸器・化学療法内科
入門腫瘍内科学	がん緩和医療	津端 由佳里 磯部威	呼吸器・化学療法内科
Journal of Dermatology 36 (2009年)	Fluorescence navigation with indocyanine green for detecting sentinel nodes in extramammry Paget's disease and squamous cell carcinoma.	Tsujino Yoshio	皮膚科
Blood 114(2): 394-403 (2009年7月)	Survivin mediates aberrant hematopoietic progenitor cell proliferation and acute leukemia in mice induced by internal tandem duplication of Flt3	Fukuda S	小児科
日本小児科学会誌 113(5): 849-856 (2009年5月)	インフルエンザワクチン接種後にみられたてんかん3例の病態の検討	美根 潤	小児科
JSBMS Letters 34(2): 21-26 (2009年6月)	ESI-MS/MSと培養細胞を用いたin vitro probe acylcarnitine profiling assayによる脂肪酸β酸化能の評価	小林弘典	小児科
Molecular Genetics and Metabolism 98(4): 372-377 (2009年12月)	Clinical and molecular aspects of Japanese patients with mitochondrial trifunctional protein deficiency	Purevsuren J	小児科

Journal of Chromatography B 877: 2648–2651 (2009年7月)	Enzymatic evaluation of glutaric academia type 1 by an in vitro probe assay of acycarnitine profiling using fibroblasts and electrospray ionization / tandem mass spectrometry (MS/MS)	Mushimoto Y	小児科
日本周産期・新生児医学 会雑誌 45(4): 973–976 (2009年12月)	新生児突然死の予防: タンデムマスによる早期発見	山口清次	小児科
日本マス・スクリーニング 学会誌 19(3): 255–259 (2009年12月)	経過中血液ろ紙分析でカットオフ値を下回った極長鎖アシル-CoA脱水素酵素欠損症の2例: 血清分析の必要性	虫本雄一	小児科
Pediatric Reports 2(e2): 9–10 (2010年3月)	Acute osteomyelitis of the acetabulum induced by <i>Staphylococcus capitis</i> in a young athlete	Fukuda S	小児科
Anticancer Research 2009.8	Placement of an expandable metallic stent improves the efficacy of chemoradiotherapy for pancreatic cancer with malignant portal vein stenosis or obstruction	Yoshinori Nio, Iguchi C, Masayuki Itakura et al.	乳腺・内分泌外科
Anticancer Research 2009.5	High incidence of synchronous or metachronous breast cancer in patients with malignant and benign thyroid tumor or tumor-like disorders	Yoshinori Nio, Iguchi C, Masayuki Itakura et al.	乳腺・内分泌外科
手術 2009.12	手術手技 腹腔鏡下胃全摘術および噴門側胃切除術におけるOrVil EEAを用いた食道・空腸hemi double stapling methodによる消化管再建	三成善光, 比良英司, 山本徹, 上田修平, 田中恒夫	消化器外科
オペナーシング 2009.6	テンポのある器械出しのための準備	三成善光, 園山雅子, 永瀬明子, 山崎祐子, 勝部奈々子, 亀谷拓治, 梶	肝・胆・膵外科
日本臨床外科学会雑誌 70(6): 1655–1659、 2009.6	胸膜瘻着療法が有用であった異時性両側気胸を発症した肺リンパ脈管筋腫症の1例	坪島顕司	呼吸器外科
Archives of Orthopaedic and Trauma Surgery (2009)	False aneurysm of a proper digital artery caused by repetitive microtrauma in a 16-year-old baseball player.	宮本 亘	整形外科
Knee Surgery Sports Traumatology Arthroscopy (2009)	Oblique osteochondral plugs transplantation technique for osteochondritis dissecans of the elbow joint.	宮本 亘	整形外科
Arthroscopy(2009)	Leg Anterior Compartment Syndrome Following Ankle Arthroscopy After Maisonneuve Fracture.	今出真司	整形外科
Injury (2009)	Tension band fixation for treatment of patellar fracture: Novel technique using a braided polyblend sutures and ring pins.	四本忠彦	整形外科
Orthopedics(2009)	Dumbbell-type spinal solitary fibrous with paraplegia.	柿丸裕之	整形外科
Clinical Biomechanics (2009)	A new technique for small and secure knots using slippery polyethylene sutures.	西村和彦	整形外科
Congenital Anomalies (2009)	Development of the meniscus of the knee joint in human fetuses.	深澤郁雄	整形外科
Knee Surgery sports Traumatology Arthroscopy (2009)	Clinical application of scaffolds for cartilage tissue engineering.	岩佐潤二	整形外科

Journal of Orthopaedic Science (2009)	Effect of implant surface roughness on bone fixation: the differences between bone and metal pegs.	今出真司	整形外科
The American Journal of Sports Medicine (2009)	Novel approach to repair of acute achilles tendon rupture: early recovery without postoperative fixation or orthosis.	四本忠彦	整形外科
Journal of Orthopaedic Science(2009)	Intratendinous ganglion in the extensor digitorum brevis tendon.	河野通快	整形外科
Clinical Biomechanics (2009)	Proximal half angle of the screw thread is a critical design variable affecting the pull-out strength of cancellous bone screws.	王 英絮	整形外科
Cellular and Molecular Neurobiology 29(4):557-562, 2009.6	Quantitative analysis of delayed neuronal death in the hippocampal subfields of SHRSP and SHR	Daisu M	脳神経外科
Neurologia Medico-Chirurgica 49(7):281-286, 2009.7	Postoperative QOL outcome and state of employment in patients undergoing resection of MRI detected lesions.	Moritake K	脳神経外科
Journal of Neurosurgery 111(2):230-237, 2009.8	Indoleamine 2,3-dioxygenase as a new target for malignant glioma therapy—Laboratory investigation—	Miyazaki T	脳神経外科
International Journal of Urology.16(1):101-104,2009	Current use of the artificial urinary sphincter and its long-term, durability:a nationwide survey in Japan.	Arai Y	泌尿器科
British Journal of Urology International.104(8):1077-84,2009.3	Five-year longitudinal effect of radical perineal prostatectomy on health-related quality of life in Japanese men,using general and disease-specific measures	Inoue S	泌尿器科
British Journal of Urology International.104(8):1085-90,2009.4	Retrospective analysis of the distance between the neurovascular bundle and prostate cancer foci in radical prostatectomy specimens:its clinical implication in nerve-sparing surgery.	Inoue S	泌尿器科
Jounal of Urology.181(4):1907-1912,2009	A polymorphism carries increased risk of biochemical recurrence after radical prostatectomy	Hirata H	泌尿器科
British Journal of Urology International.103(10):1424-8,2009	Nerve growth factor combined with vascular endothelial growth factor enhances regeneration of bladder acellular matrix graft in spinal cord injury induced neurogenic rat bladder	Kikuno N	泌尿器科
Transplant Proc.41:170-172,2009	Cluster outbreak of Pneumocystis pneumonia among kidney transplant patients within a single center	Arich N	泌尿器科
International Journal of Urology.16(11):915-7,2009	Burden of male stress urinary incontinence:a survey among urologists in Japan	Arai Y	泌尿器科
臨床画像25(5)497-504,2009	MRSによる前立腺癌診断(解説/特集)	吉廻 肇	泌尿器科
西日本泌尿器科 71(\$):143-147,2009	海外渡航腎移植は安全か?-兵庫県立西宮病院における検討-	有地 直子	泌尿器科
島根医学別冊29(2):98-102-2009	臍外傷を契機に発見された下大静脈後尿管の1例	三井 要造	泌尿器科
西日本泌尿器科 71(81):427-430,2009	巨大同時性両側性精巣腫瘍の1例	三井 要造	泌尿器科

西日本泌尿器科別冊 71(12),2009	部分切除で治癒した透析用グラフト感染の2症例	三井 要造	泌尿器科
西日本泌尿器科 71(11),2009	前立腺癌に対する化学療法(総説)	椎名 浩昭	泌尿器科
日本臨床67(8),2009	生化学的検査 酵素関係(アイソザイムを含む)アシドホスファターゼ(ACP)・酒石酸抵抗性アシドホスファターゼ(TR-ACP)	平岡 肇郎	泌尿器科
西日本泌尿器科 72(4),2009	前立腺がん検出におけるreal-time tissue elastography(RTE)の役割(原著論文)	洲村 正裕	泌尿器科
Transplantation proceedings(2009年)	Cluster outbreak of pneumocystis pneumonia among kidney transplant patients within a single center.	有地 直子	泌尿器科
西日本泌尿器科 (2009年4月)	海外渡航腎移植は安全か?—兵庫県立西宮病院における検討—	有地 直子	泌尿器科
西日本泌尿器科 (2009年12月)	部分切除で治癒した透析用グラフト感染の2症例(原著論文/症例報告/抄録あり)	有地 直子	泌尿器科
Progress in Neuro-Psycho-pharmacology & Biological Psychiatry (2009年6月)	Hyperbilirubinemia-related behavioral and neuro-pathological changes in rats: A possible schizophrenia animal model.	林田麻衣子	精神科神経科
Progress in Neuro-Psycho-pharmacology & Biological Psychiatry (2009年8月)	Is there really a link between hyperbilirubinemia and schizophrenia?	林田麻衣子	精神科神経科
Australian and New Zealand Journal of Psychiatry (2009年11月)	Abnormalities in MRI signal intensity in schizophrenia associated with idiopathic unconjugated hyperbilirubinemia.	和氣 玲	精神科神経科
Progress in Neuro-Psycho-pharmacology & Biological psychiatry (2010年3月)	High salivary alpha-amylase levels in patients with schizophrenia: A pilot study.	稻垣卓司	精神科神経科
現代産婦人科Vol.5No.2 (2009年)	異所性妊娠術前診断と手術療法に関する検討	金崎 春彦	産科婦人科
Atlas Genet Cytogenet Oncol Haematol. (March 2009)	GADD45GIP1(growth arrest and DNA-damage-inducible, gamma interacting protein 1)	Nakayama K	産科婦人科
Clin Cancer Res. 1 (2009 Feb)	Expression of a BTB/POZ protein,NAC1,is essential for the proliferation of normal cyclic endometrial glandular cells and is up-regulated by estrogen.	Ishibasi M	産科婦人科
Gan to Kagaku Ryoho. (2009 Mar)	A case of PEP(BEP)-resistant ovarian dysgerminoma successfully treated by Velp therapy.	Ishibasi M	産科婦人科
International Journal of Clinical Oncology. (2009 Apr)	Primary osteosarcoma of ovary.	Yeasmin S	産科婦人科
European Journal of Gynecological Oncology. (2009)	Fractional allelic loss as a potential biomarker of risk prediction in early-stage mucinous ovarian tumors of low malignant potential.	Nakayama K	産科婦人科

Regulatory Peptides (2009)	Follistatin, induced by thyrotropin-releasing hormone (TRH), plays no role in prolactin expression but affects gonadotropin FSH β expression as a paracrine factor in pituitary somatolactotroph GH3 cells.	Aki Oride	産科婦人科
Biochemical and Biophysical Research Communications(2009)	Possible involvement of mitogen-activated protein kinase phosphatase-1(MKP-1)in thyrotropin-releasing hormone (TRH)-induced prolactin gene expression.	Aki Oride	産科婦人科
癌と化学療法(2009)	VeIP療法が奏効したPEP(BEP)療法抵抗性卵巣未分化胚細胞腫の1例	石川雅子	産科婦人科
BIOLOGY OF REPRODUCTION	Induction of Dual Specificity Phosphatase 1(DUSP1)by Gonadotropin-Releasing Hormone (GnRH)and the Role for Gonadotropin Subunit Gene Expression in Mouse Pituitary Gonadotroph LbetaT2 Cells.	Indri N Purwana	産科婦人科
BIOLOGY OF REPRODUCTION(2009)	Pulse Frequency-Dependent Gonadotropin Gene Expression by Adenylate Cyclase-Activating Polypeptide 1 in Perifused Mouse Pituitary Gonadotroph LbetaT2 Cells.	Haruhiko Kanasaki	産科婦人科
European Journal of Gynecological Oncology (2009)	A case of exceedingly chemoresistant pure pleomorphic rhabdomyosarcoma of the uterus associated with a high serum LDH level.	Yeasmin S	産科婦人科
Arch Gynecol Obstet (2009 Aug)	Microwave endometrial ablation as an alternative to hysterectomy for the emergent control of uterine bleeding in patients who are poor surgical candidates.	Yeasmin S	産科婦人科
Biol Blood Marrow Transplant (2009 Nov)	Receiving information on fertility- and menopause-related treatment effects among women who undergo hematopoietic stem cell transplantation: changes in perceived importance over time.	Nakayama K	産科婦人科
International Journal of Clinical Oncology (2009 Dec)	A case of bilateral pelvic lymph node involvement in stage IaI squamous cell carcinoma of cervix and a review of the literatures.	Yeasmin S	産科婦人科
日本産科婦人科学会雑誌研修コーナー(2009.Nov)	婦人科疾患の診断・治療・管理 Diagnosis, Treatment and Management of Gynecologic Disease	宮崎 康二	産科婦人科
日本産科婦人科学会雑誌 ACTA OBST GYNAEC JPN (2009.Oct)	中枢神経系に存在する生理活性物質Pituitary Adenylate Cyclase-Activating Polypeptide(PACAP)によるゴナドトロピン産生調節	金崎 春彦	産科婦人科
Journal of Microwave Surgery (2009)	過多月経による出血性ショックに対する緊急マイクロ波子宫内膜アブレーションの使用経験	中山健太郎	産科婦人科
産科と婦人科 別刷 vol.77No.3(2010年3月1日)	PACAPによる下垂体機能調節	金崎春彦	産科婦人科
BIOLOGY of REPRODUCTION (Published online before print 21 October 2009)	Induction of Dual Specificity Phosphatase 1 (DUSP1)by Gonadotropin-Releasing Hormone(GnRH)and the Role for Gonadotropin Subunit Gene Expression in Mouse Pituitary Gonadotroph LbetaT2 Cells.	Indri N.Purwana	産科婦人科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌(2009年5月1日)	耳鼻咽喉科領域の重篤な感染症の取り扱い-深頸部感染症-	片岡真吾	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床(2009年7月1日)	多発性硬化症の神経耳科学的検討	梅原毅	耳鼻咽喉科

日本耳鼻咽喉科学会会報(2009年8月)	低音障害型感音難聴における温度刺激検査の検討	木村光宏	耳鼻咽喉科
頭頸部癌(2009年10月)	頭頸部腺様囊胞癌症例の検討-Ki-67の臨床動態および予後との関係-	梅原毅	耳鼻咽喉科
Scanning Electron Microscopic Observations(2009年9月)	Development of olfactory epithelium in the human fetus	木村光宏	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌(2009年5月)	当科における扁桃周囲膿瘍の臨床的検討	淵脇貴史	耳鼻咽喉科
Congenital Anomalies(2009年12月)	Role of interleukin-15 in the development of mouse olfactory nerve	梅原毅	耳鼻咽喉科
Journal of Lipid Research(2009年5月)	High level of retinal membrane docosahexaenoic acid increase susceptibility to stress-induced degeneration	Masaki Tanito	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology(2009年4月)	Diagnostic Western Blot for Lens-Specific Protein in Aqueous Fluid After Traumatic Lens-Induced Uveitis	Masaki Tanito	眼科
Thermal Medicine(2009年)	エッジ効果の発生しない半球型RF電極の開発	森山正浩	放射線治療科
日本放射線腫瘍学会誌(2009年)	「がん疼痛治療を主とする緩和医療領域における放射線治療」グループ研究報告:有痛性骨転移を中心としたがん性疼痛における放射線治療ガイドラインの提案	内田伸恵	放射線治療科
日本放射線腫瘍学会誌(2009年)	乳癌術後に放射線治療を施行した自己免疫性水疱症の2例	池田新	放射線治療科
島根医学(2009年)	緩和ケアチームにおける放射線治療	内田伸恵	放射線治療科
Am J Neuroradiol(2009年1月)	Radiation-Induced Xerostomia: Objective Evaluation of Salivary Gland Injury Using MR Sialography.	N.Uchida	放射線治療科
Magn Reson Med Sci(2009年)	Enlargement of the hippocampal angle: a new index of Alzheimer disease.	N.Uchida	放射線治療科
Magn Reson Med Sci(2009年)	Brain Activation during the Spot the Differences Game.	N.Uchida	放射線治療科
日本口腔外科学会雑誌38: 70-78, 2009	口腔病変切除後の有茎頬脂肪体移植による再建の経験	高村雄太朗	歯科口腔外科
日本顎顔面インプラント学会誌, 8(3):185-188, 2009.	島根大学医学部歯科口腔外科におけるインプラントに係る病診連携の現状	渡邊正章	歯科口腔外科
American Journal of Pathology, 175(4):1709-1721, 2009.	Autocrine Loop between Vascular Endothelial Growth Factor (VEGF)-C and VEGF Receptor-3 Positively Regulates Tumor-Associated Lymphangiogenesis in Oral Squamous Cancer Cells.	Masaki Matsuura	歯科口腔外科
Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery21, Number 3 & 4, September & December, 2009.	Management of Squamous Cell Carcinoma of the Tongue in Pregnant Women: Report of 2 Patients.	Seiji Kondo	歯科口腔外科
島根医学検査(2009年5月)	島根県における尿検査に関するアンケート調査結果	松田親史	検査部

島根医学検査 (2009年5月)	尿沈渣 診断へ近づくための各種染色方法	松田親史	検査部
島根医学検査 (2009年5月)	HbA1c測定機器4機種間における測定値の差異	石飛文規	検査部
島根医学検査 (2009年5月)	住民健診における頸動脈プラーカスコアと頸動脈内膜中膜複合体厚の特徴－脳梗塞患者および糖尿病患者との比較検討－	福間麻子	検査部
島根医学検査 (2009年5月)	全自动輸血検査装置ECHOの使用経験	三島清司	検査部
Glia (2009年6月)	Lysophosphatidylcholine Induces Glial Cell Activation: Role of rho Kinase	Nagai A	検査部
心エコー (2009年6月)	僧帽弁逆流:PISA法	角 隆	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 (2009年6月)	全自动免疫測定装置HISCL-2000iを用いたHBs抗原の高感度測定	森山英彦	検査部
Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition (2009年7月)	Efficacy of corrected rapid turnover protein increment index (CRII) for early detection of improvement of nutrition status in patient with malnutrition	Suyama Y	検査部
Heart View (2009年7月)	特集「弁膜疾患患者の手術適応を識る：2006年AHA改訂を受けて」人工弁感染症に対していくに 対応すべきか	吉富裕之	検査部
Thrombosis Research (2009年8-9月)	A rare case of MYH9 disorders presenting with macrothrombocytopenia and deafness caused by MYH9-R702C mutation	Kodama R	検査部
心エコー (2009年8月)	サロゲートエンドポイントに用いられるエコー指標について教えてください	山口一人	検査部
医学検査 (2009年8月)	病院職員を対象とした風疹、麻疹、水痘、ムンプスワクチン接種効果と院内感染対策	竹内志津枝	検査部
臨床検査のガイドライン JSLM2009 (2009年9月)	第2章症候 一般5.けいれん、運動麻痺・筋力低下	長井 篤	検査部
医学検査 (2009年9月)	高感度フローサイトメトリー法による微少PNH型血球検出の臨床的意義	柳楽 槟	検査部
Journal of Medical Microbiology (2009年9月)	Septic shock induced by Lecythophora mutabilis in a patient with mitochondrial encephalomyopathy	Taniguchi Y	検査部
心エコー (2009年9月)	特集「左房を知る」肺静脈の撮り方	吉富裕之	検査部
医学検査 (2009年11月)	変異LH β 鎖症例における化学発光免疫測定試薬の反応性	松田親史	検査部
医学と薬学 (2009年11月)	VIDAS測定値における感染防御抗体価の測定 デンカ生研社EIA試薬との比較	松田親史	検査部
臨床病理 (2009年12月)	Head-up tilt testによる睡眠時無呼吸患者の自律神経機能評価	宇野誓子	検査部
検査と技術 (2009年12月)	ワンポイントアドバイス 高感度梅毒TP抗体測定の評価ならびに新しい梅毒検査の進め方	柴田 宏	検査部
日本臨床 (2009年12月)	【広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査[第7版]その数値をどう読むか】生化学的検査 酸化ストレス関連マーカー 尿中8-isoprostane(IsoP)	柴田 宏	検査部

Journal of Infection and Chemotherapy (2010年1月)	Familial outbreak of Yersinia enterocolitica serotype O9 biotype 2	Nagai A	検査部
今日の治療指針 -私はこう治療している- TODAY'S THERAPY 2010	神経痛(肋間神経痛、坐骨神経痛)	長井 篤	検査部
Brain Research (2010年2月)	Microglia transplantation attenuates white matter injury in rat chronic ischemia model via matrix metalloproteinase-2 inhibition.	Nagai A	検査部
Anaesthesia & Intensive Care, 2010年1月	A modified posterior approach to lumbar plexus block using a transverse ultrasound image and an approach from the lateral border of the transducer	Katsushi Doi, Shinichi Sakura, Kaoru Hara	手術部
British Journal of Anaesthesia, May 11, 2009	Involvement of umbilical region by transversus abdominis plane block	Akemi Shido, Katsushi Doi, Shinichi Sakura, Yoji Saito	手術部
Ultrasound-Guided Regional Anesthesia and Pain Medicine, 2009年12月	Ultrasound-guided lumbar plexus block (transverse approach)	Shinichi Sakura, Kaoru Hara, Jean-Louis Horn	手術部
Cancer Genetics and Cytogenetics (2009年4月)	NUP98-NSD3 fusion gene in radiation-associated myelodysplastic syndrome with t(8;11)(p11;p15) and expression pattern of NSD family genes	Taketani T	輸血部
小児科臨床 (2009年6月)	小児の発熱性疾患におけるプロカルシトニンの臨床的意義の検討	竹谷 健	輸血部
小児科 (2009年6月)	低ホスファターゼ症	竹谷 健	輸血部
小児科臨床 (2010年3月)	バイオフィルムが関与したと思われる感染症に対してリネゾリドが奏功した小児例	竹谷健	輸血部
Biomedicak Research(2009)	Re-evaluation of the histological criteria for complete hydatidiform mole: Comparison with the immunohistochemical diagnosis using p57KIP2 and CD34.	Noriyoshi Ishikawa, Yuji Harada	病理部
IEEE EMC Society Newsletter (Summer 2009)	Electric field intensity emitted from medical devices and its potential electromotive force according to the quality of grounding.	Hanada E et al	医療情報部
病院設備 (2009)	医療機器の使用環境としての基盤(インフラ)整備の必要性	花田英輔	医療情報部
日本遠隔医療学会雑誌 (2009)	地域医療崩壊防止策としてのインフラ整備—デジタルデバイド解消による遠隔医療の推進—	花田英輔	医療情報部
静電気学会誌 (2009)	移動体通信等の身近な通信技術に関する電磁環境問題	花田英輔	医療情報部
Shimane J Med Sci	A case with dermatomyositis-related swallowing disorder treated by intermittent oro-esophageal tube feeding.	Takeshi Ieda, Akiko Ishida, Kimi Yonehara, Taku Tadenuma, Sokichi Maniwa.	リハビリテーション部 小計16

Shimane J Med Sci	Quantitative measurements of hip abductor strength after total hip arthroplasty using the direct lateral approach: Recovery of the abductor strength in total hip arthroplasty.	Sokichi Maniwa, Hidetoshi Yamaguchi, Hideaki Sanada, Hiroyuki Kakimaru, Yasuo Sakai, Taku Tadenuma, Yuji Uchio.	リハビリテーション部
日本医事新報	変形性股関節症の下肢筋力訓練	馬庭壯吉	リハビリテーション部
MB Medical Rehabilitation	変形性膝関節症に対する在宅訓練	内尾祐司、道端ゆう子、蓼沼拓、馬庭壯吉	リハビリテーション部
Hip Joint	THA患者に対する間欠的空気圧迫法とフォンダパリヌクスの併用によるVTE予防の検討	山口英敏、馬庭壯吉、真田英明、内尾祐司	リハビリテーション部
中部日本整形外科災害外科学会雑誌	人工股関節全置換術における深部静脈血栓の予防と早期診断	平松由美子、山口英敏、柿丸裕之、馬庭壯吉、内尾祐司	リハビリテーション部
認知症ケア事例ジャーナル	認知症による先行期嚥下障害の摂食・嚥下リハビリテーション	家田雄、道端ゆう子、酒井康生、蓼沼拓、米原希実、馬庭壯吉	リハビリテーション部
World Journal of Gastroenterology, 15: 5586-5591, 2009 (2009.11)	Unsedated transnasal small-caliber esophagogastroduodenoscopy in elderly and bedridden patients	Yuki M, et al	光学医療診療部
薬学雑誌 (2009年6月1日)	麻黄湯坐剤の調製・製剤学的評価及び小児有熱患者への臨床応用	西村信弘	薬剤部
島根病院薬剤師会雑誌 (2009年6月30日)	腎移植患者におけるタクロリムスの適正使用-薬物相互作用による体内動態変化の推定に基づく投与量設定-	西村信弘	薬剤部
医薬ジャーナル (平成21年9月1日)	注射薬の安全使用を目的とした配合変化情報および注射薬情報提供の取り組み	尾村賢司	薬剤部
島根医学 (平成21年12月31日)	抗悪性腫瘍薬のファーマコゲノミクス	直良浩司	薬剤部
日本環境感染学会雑誌 (平成22年1月25日)	抗MRSA薬適正使用のための薬学的な介入とその評価	石原慎之	薬剤部
Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition (2009.7)	Efficacy of Corrected Rapid Turnover Protein Increment Index(CRII) for Early Detection of Improvement of Nutrition Status in Patients with Malnutrition.	足立経一	臨床栄養部
Journal of Gastroenterology and Hepatology (2009.4.24)	Comparison of endoscopic findings with symptom assessment systems (FSSG and QUEST) for gastroesophageal reflux disease in Japanese centres.	足立経一	臨床栄養部
Journal of Gastroenterology (2009.4)	Comparison of the effects of omeprazole and famotidine in treatment of upper abdominal symptoms in patients with reflux esophagitis.	足立経一	臨床栄養部
Clinical Nutrition (2009.6.5)	Half-solidification of nutrient does not decrease gastro-esophageal reflux events in patients fed via percutaneous endoscopic gastrostomy.	足立経一	臨床栄養部
World Journal of Gastroenterology (2010.2.28)	Effects of anti-hypertensive drugs on esophageal body contraction.	足立経一	臨床栄養部

Journal of Gastroenterology (2009.7)	Asymmetrical circumferential distribution of esophagogastric junctional lesions: anatomical and physiological considerations.	足立 純一	臨床栄養部
日本消化器病学会雑誌 (2009.10)	消化器症状を有する患者のQOL評価のための問診票「出雲スケール」の作成とその検証。	足立 純一	臨床栄養部
Health Policy 2009;89:26-36	Factors associated with system-level activities for patient safety and infection control.	Fukuda H, Imanaka Y, Hirose M, Hayashida K	病院医学教育センター
Qual Saf Health Care. 2010 Mar 1. [Epub ahead of p]	A comparative analysis of incident reporting lag times in academic medical centres in Japan and the	Regenbogen SE, <u>Hirose M</u> , Imanaka Y, Oh EH, Fukuda H, Gawande AA, Takemura T, Yoshihara	病院医学教育センター
島根医学検査 2009;37(2):1-11	臨床検査部門と医療安全	廣瀬 昌博	病院医学教育センター
ヒューマンインターフェース学会誌 2009;11(2):121-128	安全インターフェース特集 医療安全インターフェース技術開発のためのキーポイント	廣瀬 昌博	病院医学教育センター

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

小計 6
合計215

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 小林 祥泰			
管理担当者氏名	検査部長 長井 篤 放射線部長 北垣 一 看護部長 秦 美恵子 医療サービス課長 田村 和彦	手術部長 佐倉 伸一 薬剤部長 直良 浩司 総務課長 安友 政男		

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療サービス課 手術部 薬剤部 検査部 放射線部 看護部	カルテ等病歴資料は、入院・外来別に1患者1ファイル方式で管理し、エックス線写真は放射線部で患者毎に管理を行っている。なお、平成18年9月の電子カルテ導入後、電子化されたものは医療情報システムのデータベース上で、患者IDをキーにして管理されている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課	
	高度の医療の提供の実績	医学部医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課	
	高度の医療の研修の実績	医学部総務課	
	閲覧実績	医学部医療サービス課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医療サービス課及び薬剤部	
	第規一則号第に一掲条げのる十体制第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医学部医療サービス課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医学部医療サービス課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医学部医療サービス課

の一 確項 保各 の号 状及 況び 第 九 条 の 二 十三 第一 項	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医学部医療サービス課
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医学部医療サービス課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部医療サービス課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医学部医療サービス課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医学部医療サービス課

病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる	保管場所	分類方法
		院内感染のための指針の策定状況	医学部医療サービス課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医学部医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医学部医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	医学部医療サービス課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医学部医療サービス課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医学部医療サービス課及び薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医学部医療サービス課及び薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医学部医療サービス課及び薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医学部医療サービス課

体制の確保の状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医学部医療サービス課及びMEセンター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医学部医療サービス課及びMEセンター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医学部医療サービス課及びMEセンター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 小林 祥泰			
管理担当者氏名	検査部長 長井 篤 放射線部長 北垣 一 看護部長 秦 美恵子 医療サービス課長 田村 和彦	手術部長 佐倉 伸一 薬剤部長 直良 浩司 総務課長 安友 政男		

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録			
病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療サービス課 手術部 薬剤部 検査部 放射線部 看護部	カルテ等病歴資料は、入院・外来別に1患者1ファイル方式で管理し、エックス線写真は放射線部で患者毎に管理を行っている。なお、平成18年9月の電子カルテ導入後、電子化されたものは医療情報システムのデータベース上で、患者IDをキーにして管理されている。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課	
	高度の医療の提供の実績	医学部医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課	
	高度の医療の研修の実績	医学部総務課	
	閲覧実績	医学部医療サービス課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医療サービス課及び薬剤部	
	第規一則号第に一掲条げのる十体一制第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医学部医療サービス課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医学部医療サービス課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医学部医療サービス課

の一 確項 保各 の号 状及 況び 第 九 条 の 二 十三 第一 項	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医学部医療サービス課
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医学部医療サービス課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部医療サービス課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医学部医療サービス課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医学部医療サービス課

病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる	保管場所	分類方法
		院内感染のための指針の策定状況	医学部医療サービス課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医学部医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医学部医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	医学部医療サービス課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医学部医療サービス課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医学部医療サービス課及び薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医学部医療サービス課及び薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医学部医療サービス課及び薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医学部医療サービス課

体制の確保の状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医学部医療サービス課及びMEセンター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医学部医療サービス課及びMEセンター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医学部医療サービス課及びMEセンター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 日出 充一
閲覧担当者氏名	医療サービス課長 田村 和彦
閲覧の求めに応じる場所	附属病院2階 カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	医 師 延 0 件
	歯 科 医 師 延 0 件
	国 延 0 件
	地 方 公 共 団 体 延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	6 3 . 9 %	算 定 期 間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数		9 , 0 5 7	人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7 , 0 0 0	人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		9 9 2	人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数		1 9 , 6 8 3	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容 :	
はじめに 「医療安全文化を維持向上させるために」	
1 安全管理に関する基本指針	島根大学医学部附属病院における安全管理に関する基本方針
2 医療事故防止の基本	
3 医療事故防止に関する基本用語	
4 インフォームド・コンセント	
5 安全管理体制に関する組織	
6 医療事故を未然に防止するための体制	
7 医療事故等が発生した場合の対応	
8 医療従事者と患者との間の情報の共有	
9 患者からの相談への対応	
10 職員研修	
11 医療安全推進のために必要なその他の事柄	
12 関連マニュアル	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
1 医療安全管理委員会	原則／毎月・1回 (平成21年度実績 12回)
2 リスクマネジャー会議	原則／毎月・1回 (平成21年度実績 12回)
・ 活動の主な内容 :	
1 島根大学医学部附属病院医療安全管理委員会規則	
1) 医療事故等の防止対策に関すること	
2) 医療事故等の把握、分析、対処改善及び評価に関すること	
3) 医療事故に係る患者及びその家族への対応に関すること	
4) 安全管理のための職員の教育・研修に関すること	
5) 医薬品の安全使用に関すること	
6) 医療機器の安全使用に関すること	
7) その他、医療安全管理に関すること	
2 島根大学医学部附属病院リスクマネジャーに関する要項	
1) 安全確保のための点検の実施に関すること	

- 2) 当該診療科等の構成員に対し、安全確保のための指導の実施に関するこ
- 3) リスクマネジャー会議への参画に関するこ
- 4) その他、医療事故防止に関するこ

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年9回
--------------------------	-----

- 研修の主な内容：
- 1 医薬品関連医療事故防止の方策
 - 2 インスリンの安全使用について —インスリン指示書改定に伴う説明—
 - 3 身体抑制マニュアルについて —身体抑制マニュアルの新規作成に伴う説明—
 - 4 医療安全の基礎知識 —医療におけるヒューマンエラーとその対策—
 - 5 院内肺塞栓症予防対策 —県西部浜松医療センターにおける取り組みを中心に—
 - 6 MR I 検査を安全に行うために
 - 7 除細動装置及びAEDの取り扱いについて
 - 8 人工呼吸器について (安全なガスボンベの使用方法について、マニホールドについて)
 - 9 新規購入人工呼吸器 (サーボS) 使用方法説明会
- ※ その他の医療機器安全使用研修及び新規・中途採用者の医療安全研修外

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況

- 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)
 - その他の改善の方策の主な内容：
- 1 新規インシデントレポートシステムの導入
従来のインシデントレポートより詳細な分析が可能となる、医療安全集中管理システム「セーフマスター」を導入した。
 - 2 インスリン指示書改訂
インスリンによるインシデント報告の原因の一つにインスリンの指示書が正しく使用されていない点があり、該当診療科を含めたワーキングを立ち上げ、指示書の内容、記載方法などを含め検討し指示書を改訂した。改訂後2回に渡り、改訂指示書の説明及び安全にインスリンを実施するための方策について医療安全研修を実施した。
改訂後、インスリン指示書に関連したインシデント報告は減少した。
 - 3 身体抑制マニュアル作成
本院において身体拘束に関しての「説明と同意書」はあるが、その中の拘束に関する説明が十分でないことから、共通理解の基に患者に対応するため、身体拘束に関するマニュアル作成ワーキングを立ち上げ「本院における身体行動制限[抑制]についてのマニュアルを作成し、周知した。
 - 4 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書

平成20年度に改訂した手順書に病棟、手術部、ICUでの取り扱いについての内容を補充し整備した。

5 経鼻栄養チューブ挿入時の位置確認マニュアルの作成

経鼻栄養チューブ挿入時の確認事項については、挿入時PHを推奨している医療安全全国共同行動の「経鼻栄養チューブ位置確認マニュアル」を取り入れ作成し周知した。

6 手術室入室マニュアル作成

患者誤認防止を徹底するため、手術室入室マニュアルを作成し周知した。

7 ドクターハリーコールマニュアル作成

ドクターハリーコールマニュアル及びドクターハリーコール報告書を作成し周知した。特に夜間もハリーコールをしてもよいこととした。

8 手術室タイムアウトチェックを実施し、タイムアウト実施を促した。

9 インシデント事例に基づき、塗り薬の容器への薬剤名表記を行った。

10 医療事故防止対策マニュアル改訂（第9版）を作成した。

11 部署別安全管理マニュアルを見直し修正した。

12 医療安全管理・危機管理対応ポケットマニュアル（平成22年版）を発行した。

13 平成21年10月8・9日本院で実施された「医療の安全・質向上のための相互チェック」において、改善を要する事項について部門ごとに改善した。

医療機器を安全に使用するための研修会の開催、また、特定病院において指定された医療機器の保守点検を行った。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> (1名) • 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> (1名) • 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> • 無

： 所属職員： 専任（1）名 兼任（9）名
： 活動の主な内容：

- 1 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療に係る安全管理のための委員会の事務に関すること
- 2 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと
- 3 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと

- 4 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと
- 5 医療安全管理に係る連絡調整に関すること
- 6 医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること
- 7 医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること
- 8 安全管理に関する教育・研修に関すること
- 9 その他医療安全対策の推進に関すること

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

有・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 院内感染の防止に留意し、感染等発生の際にはその原因を速やかに特定、制圧、終息を図ること。 院内感染対策に関する院内全体の問題点を把握して改善策を講じるため組織横断的な感染対策専門部会を設置。 全職員を対象に感染防止の基本的な考え方及びマニュアルについて周知徹底を図るための職員研修会の実施。 院内感染発生時は、その状況及び患者への対応等を管理者に報告し、原因究明し、改善策を立案し、実施するため全職員に周知。 院内感染対策のマニュアルの整備。 患者への情報提供と説明。 感染制御に関する質問は日本感染症学会感染対策窓口で適切な助言を得る。 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 感染対策室の運営、業務の企画に関すること。 感染の予防に関すること。 予防対策実施の指導に関すること。 感染予防の教育に関すること。 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること。 その他感染対策に関すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : (21年度 7回) <ol style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザに対する本院の方針について (第1回) 新型インフルエンザに対する本院の方針について (第2回) 院内感染の診断と治療のポイント「医療関連感染へのアプローチ」 【DVDによる研修会】院内感染の診断と治療のポイント「医療関連感染へのアプローチ」 医療安全及び感染対策のための研修会 (合同研修会) 「MRI検査を安全に行うために」、「細菌検査の基礎知識と監視耐性菌の検出状況」 感染対策及び安全衛生のための研修会 (合同研修会) 「医療従事者の安全と健康」、「血液媒介病原体への職業感染予防と針刺し切創対策」 感染対策のための外部委託業者等研修会 「手洗いについて」 	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 · 無)
- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

- 1 通常感染情報 Web にて把握し、該当部署へ指導に行き、副室長に報告をする。
- 2 特異的なものは、検査部より連絡が入り、該当部署へ行き指導をし、副室長に報告をする。
場合により関係者を招集して会議を行う。
- 3 感染状況は、他部署に対しても感染予防の啓発を促す。
- 4 定期的または事例発生時にラウンドし、状況調査時に提示した上で指導をする。

(様式第13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	[有]・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年27回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： (院内全体の研修会)<ol style="list-style-type: none">医薬品関連医療事故防止の方策治験特別講演会「インスリンの安全使用について-インスリン指示書改定に伴う説明会-」医員研修会「処方時の留意点、副作用報告について」看護師の新規採用者に対する注射剤に関する教育研修	
<p>(薬剤部内の研修会)</p> <ol style="list-style-type: none">新人教育におけるリスクマネジメント講義平成20年度疑義照会内容の分析結果について製品説明会 20回	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 ([有]・無)業務の主な内容<ol style="list-style-type: none">医薬品の採用医薬品の購入調剤室における医薬品の管理病棟・各部門への医薬品の供給外来患者への医薬品使用病棟における医薬品の管理入院患者への医薬品の使用医薬品情報の収集・管理・提供手術・麻酔部門集中治療部門輸血・血液管理部門血液透析部門画像診断部門、臨床検査部門歯科領域	

15 他施設との連携

16 事故発生時の対応

17 教育・研修

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

(情報収集の方法)

- 1 新規採用時：新規採用薬については、医薬品添付文書・インタビューホーム・製品概要・各種パンフレット・関連文献（集）等の収集。
また、医薬品添付文書・インタビューホーム等が更新された場合は、最新情報を収集・更新している。
- 2 隨時：緊急安全性情報（厚生労働省「医薬品医療機器等安全性情報」）の収集と院内提供をしている。

(情報の周知方法)

- 1 緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、D S U等は各診療科、中央・特殊診療施設、看護部等の院内関係部署へ配布する。
薬事専門部会結果（薬剤の採用及び取り消し等）については、院内関係部署へ文書にて情報提供し、さらに新規採用薬については、効能・効果、用法・用量、副作用などの情報も一緒に提供している。
上記の緊急安全情報、医薬品・医療機器等安全情報、薬事専門部会結果は院内W e b（薬剤部ホームページ）でも情報提供を行っている。
- 2 (財)日本医療機能評価機構からの共有すべき情報（医薬品関係）をリスクマネジャー会議で周知している。

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年9回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 除細動装置及びAEDの取り扱いについて 2 人工呼吸器について（安全なガスボンベの使用方法について、マニホールドについて） 3 新規購入人工呼吸器（サーボS）使用方法説明会 4 高精度放射線治療に向けた安全管理体制について 5 保育器の安全使用について 6 マイクロセレクトロン—HDR安全使用について 7 血液浄化装置について 8 MR検査を安全に行うために 9 人工心肺装置について 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 始業点検、終業点検 2 外部委託によるオーバーホール 3 外部委託による定期保守・緊急保守（故障・修理） 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ その他の改善の方策の主な内容：</p> <p>(情報収集の方法)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成19年3月30日医政指発第0330001号第4.3に基づき、製造販売業者等から不具合が生じた機器に関する情報を収集している。 2 臨床工学技士の研修会及び講習会参加により種々情報を収集している。 3 島根県出雲保健所から、人工呼吸器の医療安全対策に係る情報を収集している。 4 インターネットによる医療事故情報にて情報を収集している。 	

(情報の周知方法)

- 1 上記により収集した情報を医療機器安全管理責任者から病院長に報告をすると共に、該当設置部署、会計課及びME機器管理室に文書及び口頭にて周知している。
- 2 医療機器の安全使用のための研修会にて情報の周知を行っている